

NYマーケットレポート (2022年2月16日)

2022年2月16日 (水)

アジア主要株価指数	終値	前日比	年初来%	外国為替	終値	高値	安値
日経平均	27,460.40	+595.21	-4.62%	USD/JPY	115.46	115.79	115.36
ハンセン指数	24,718.90	+363.19	5.65%	EUR/JPY	131.32	131.91	131.11
上海総合	3,465.83	+19.74	-4.78%	GBP/JPY	156.86	157.11	156.36
韓国総合	2,729.68	+53.14	-8.33%	AUD/JPY	83.08	83.18	82.63
豪ASX200	7,284.93	+78.00	-2.15%	EUR/USD	1.1373	1.1396	1.1345
シンガポールST	3,439.30	+17.92	10.10%	BRL/JPY	22.366	22.418	22.204
インドSENSEX	57,996.68	-145.37	-0.44%	RUB/JPY	1.533	1.543	1.518

欧州主要株価指数	終値	前日比	年初来%	コモディティ	終値	前日比	年初来%
英FT100	7,603.78	-5.14	2.97%	NY GOLD	1,871.50	+15.30	2.35%
仏CAC40	6,964.98	-14.99	-2.63%	NY 原油	93.66	+1.59	24.53%
独DAX	15,370.30	-42.41	-3.24%	CBOTコーン	645.75	+8.25	8.85%
スペインIBX35	8,737.20	+19.20	0.27%	CRB指数	265.261	+3.192	14.15%
イタリアFTSE MIB	26,969.32	+1.34	-1.38%	ドル指数先物	95.824	-0.165	0.16%
トルコ・イスタンブール100	2,041.43	+3.27	9.89%	VIX指数	24.29	-1.41	41.06%
ロシアRTS	1,524.51	+26.47	-4.46%				
南ア全株指数	76,502.59	+649.43	3.79%				

米主要株価指数	終値	前日比	年初来%	Crypto Currency	本日	前日
米ダウ平均	34,934.27	-54.57	-3.86%	CME Bitcoin(先物・期近)	44170	44020
S&P500	4,475.01	+3.94	-6.11%	Ripple(XRP)【BSTP】	0.842	0.829
NASDAQ	14,124.09	-15.67	-9.72%	Ethereum【BSTP】	3137.36	3099.86
				Bitcoin Cash	334.22	337.49

南北米主要株価指数	終値	前日比	年初来%	オセアニア国債利回り	本日	前日
カナダ・トロント総合	21,383.64	-118.91	0.76%	オーストラリア10年債	2.237%	2.255%
メキシコ・ボルサ指数	53,680.86	+469.92	0.77%	ニュージーランド10年債	2.862%	2.898%
ブラジル・ボベスパ指数	115,180.90	+352.70	9.88%	日本国債利回り		
				2年債	-0.020%	-0.024%
				10年債	0.216%	0.219%
				30年債	0.939%	0.901%

欧州国債利回り	本日	前日
ドイツ10年債	0.276%	0.308%
英国 10年債	1.524%	1.582%
フランス 10年債	0.750%	0.780%
イタリア 10年債	1.910%	1.960%
スペイン 10年債	1.270%	1.310%
米国債利回り		
2年債	1.521%	1.577%
10年債	2.038%	2.043%
30年債	2.345%	2.357%

2/17 経済指標スケジュール

- 08:50 【日本】1月貿易収支
- 08:50 【日本】12月機械受注
- 09:00 【シンガポール】4Q GDP
- 09:30 【オーストラリア】1月失業率
- 09:30 【オーストラリア】1月雇用者数
- 09:30 【オーストラリア】1月労働参加率
- 09:30 【シンガポール】1月電子機器輸出
- 09:30 【シンガポール】1月輸出
- 11:00 【ニュージーランド】1月非居住者国債保有率
- 16:00 【スイス】1月貿易収支
- 16:00 【欧州】1月新車登録台数[EU-27]
- 18:00 【欧州】2月ECB経済報告
- 20:00 【トルコ】政策金利
- 22:30 【米国】新規失業保険申請件数
- 22:30 【米国】失業保険継続受給者数
- 22:30 【米国】2月フィラデルフィア連銀景況指数
- 22:30 【米国】1月住宅着工件数
- 22:30 【米国】1月建設許可件数
- 22:30 【カナダ】12月国際証券取扱高
- 22:30 【カナダ】1月住宅価格指数
- 01:00 【米国】EIA天然ガス貯蔵量

2/17 主要会議・講演・その他予定

- ・セントルイス連銀総裁 講演
- ・クリーブランド連銀総裁 講演
- ・G20財務相・中央銀行総裁会議 (～18日)
- 米第4四半期決算～ウォルマート、その他

NY 市場レポート（前日 22 時 00 分～午前 6 時 30 分まで）

米国の主要な経済指標の結果

1 月小売売上高（前月比） 3.8%（予想 2.0%・前回 -1.9%⇒-2.5%）

1 月小売売上高[除自動車]（前月比） 3.3%（予想 1.0%・前回 -2.3%⇒-2.8%）

1 月の米小売売上高は、前月比+3.8%の 6497.8 億ドルと 2 ヶ月ぶりのプラス、昨年 3 月以来の高い伸びとなった。感染拡大で落ち込んだ前月の反動が出たとみられる。家具が+7.2%（前月-7.4%）、電気製品が 1.9%（-4.1%）、建設資材が+4.1%（+1.2%）、食品・飲料が+1.1%（-0.2%）と伸びたものの、ガソリンスタンドは-1.3%（+0.4%）とマイナスとなった。一方、百貨店が+9.2%（-7.0%）、無店舗小売りは+14.5%（-11.4%）と回復、ただ、飲食店は-0.9%（-0.6%）だった。

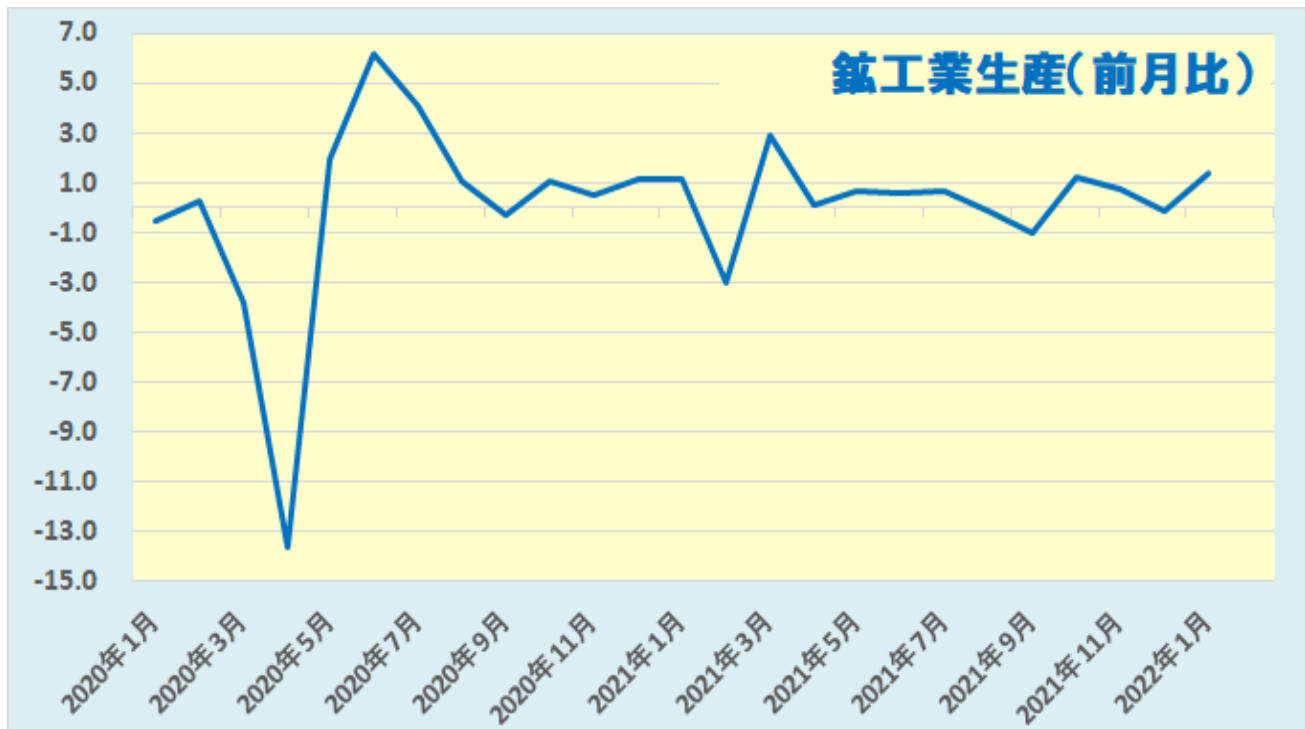


データを基に SBILM が作成

1月鉱工業生産（前月比） 1.4%（予想 0.4%・前回 -0.1%）

1月設備稼働率 77.6%（予想 76.8%・前回 76.5%⇒76.6%）

1月の米鉱工業生産は、市場予想を上回り2ヵ月ぶりのプラスとなった。電力・ガスの生産が+9.9%（-1.8%）と大きく上昇したことが押し上げ要因となり、製造業は+0.2%（-0.1%）、鉱業も+1.0%（+1.5%）となった。一方、設備稼働率は77.6%となり、2019年5月以来、2年8ヵ月ぶりの高さとなった。



データを基に SBILM が作成

2月 NAHB 住宅市場指数 82（予想 82・前回 83）

2月の米 NAHB 住宅市場指数は、市場予想と一致し4ヵ月ぶりの低水準となった。引き続き、労働コストや資材価格の上昇などを背景に、販売見通しが悪化したことが要因となった。一戸建て住宅販売の現状指数が90（前月89）と上昇したものの、見通しは80（82）、見込み客足指数65（69）と低下した。



データを基に SBILM が作成

FOMC 議事要旨の主な内容

- ・メンバーはバランスシートの大幅縮小が適切にと判断
- ・メンバーは近く利上げが適切になると認識
- ・バランスシートの縮小計画は今後の会合で決定
- ・大半は2015年より速い利上げが正当と認識
- ・メンバーの多くが将来のMBS売却の可能性を認識
- ・インフレが低下しなければ引き締めペース加速も
- ・メンバーの大半が前回よりも迅速な利上げペースを提案

ダウ平均、ナスダックは小幅反落、S&P500 は小幅続伸

米株式市場では、ウクライナ情勢を巡る警戒感が根強く、投資家のリスク回避の売りが先行した。さらに、ロシアが前日にウクライナ国境付近から軍の撤退を発表したものの、米国やNATOが撤退は確認できないとしたことから警戒が高まり、下げ幅を拡大する場面もあった。しかし、FOMCの議事要旨が予想ほどタカ派的でなかったと受け止められたことで利上げ加速への懸念が和らぎ、主要株価指数は下げ幅を急速に縮小した。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比346ドル安まで下落した。終盤には急速に下げ幅を縮小し、54.57ドル安(-0.16%)で終了。一方、ハイテク株中心のナスダックは、15.67ポイント安(-0.11%)で終了した。



セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	テクノロジー	-0.54%	1	セールスフォースD	-1.17%
2	消費者サービス	-0.43%	2	3M	-1.09%
3	金融	-0.43%	3	ゴールドマン・サックスG	-1.07%
4	ヘルスケア	-0.02%	4	ホーム・デポ	-0.90%
5	通信サービス	0.02%	5	ウォルグリーンBA	-0.87%

データを基にSBILMが作成

ドル/円は上値の重い動きが続く

NY市場では、序盤に発表された1月の米小売売上高が市場予想を上回る伸びとなり、昨年3月以来の高い伸びとなったことを受けてドルは主要通貨に対して堅調な動きとなった。しかし、前日にロシアがウクライナとの国境付近からロシア軍の撤退を発表したが、米国やNATO（北大西洋条約機構）がロシア軍の撤退は確認できていないとしたことからリスク回避の動きが再燃し、ドル円・クロス円は下落した。さらに、米長期金利が低下したことや、米主要株価指数が下落したこともドル円・クロス円の圧迫要因となった。その後、米長期金利が持ち直したことから、ドル/円は底固い動きとなったものの、FOMCの議事要旨が予想ほどタカ派的でないを受け止められたことから、ドルは主要通貨に対して上値の重い動きが続いた。一方、欧州通貨や資源国通貨は、米主要株価指数が急速に下げ幅を縮小したことや、対ドルで堅調な動きとなったことから、対円でも底固い動きが続いた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。